

広 報

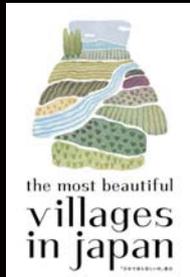
# きかい



No. 519

9

平成 22 年  
(2010 年)



喜界町は「日本で最も美しい村」  
連合に加盟しています。

- P 2 保健福祉課よの ～特定健診受診率について～
- P 3 シマの話題その1 (島の宝、種雄牛引き上げ 他)
- P 4 企画課よの ～国勢調査の調査票を配布します～
- P 5 シマの話題その2 (第103回中里立毛品評会 他)
- P 7 シマの話題その3 (われと来て遊べや親のいない雀 他)
- P 12 シマの入り江と塩だまり (上東編)
- P 13 喜界歌壇・戸籍の窓
- P 14 島に咲く花



伝統はチカラなり

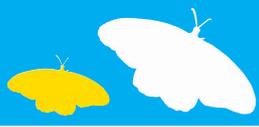
### 表紙説明

帰省者や集落内外の多くの人出でにぎわう上嘉鉄盆おどりは、島の“夏の風物詩”として定着して久しい。

第63代青年団団長の幸得進也さんは「集落の方々に喜んでもらいながら地域を盛り上げたい。歴代の先輩たちが連綿と紡いできた伝統を受け止め、後輩たちへしっかりとつなげていく」と、想いを語る。

近年、過疎地はもちろん都心部でも限界集落(団地)や買い物難民の問題が深刻である。が、祭り囃子を聞きながら、レンズに映る一心不乱に踊る老若男女を眺めていると、「この集落には『限界』がない」との思いが頭をよぎった。





「口蹄疫は『モー』たくさんだけど、親切が『ギョウ』とつまった島には、また来たいです」  
〜種雄牛3カ月ぶりに里帰り〜

口蹄疫の影響で5月25日から本町で滞在していた県管理の種雄牛6頭（候補牛含む）は9月2日、宮崎県で口蹄疫の終息が宣言されたことから、本来の飼養施設である県肉用牛改良研究所（肉改研、曾於市）へと、約3カ月ぶりに「帰郷」した。

これを受けて県は8月27日と28日の両日、豊原芳宏さん（大朝戸）所有の施設に滞在していた種雄牛ら6頭を一般公開した。「県の宝」を一目見ようと、両日は計200人強の帰省客や観光客を含む見物者でにぎわった。父親が畜産農家という志戸桶小3年の榮健生くんは「おとうさんの牛より、あたまも体もちんちんのぼしよも大きかった」と、普段見る母牛や子牛と違う初めての種雄牛に目を丸くした。

この3ヶ月間、2週間交代で来島し、獣医師と



県のエース「金幸福」号を記念撮影する観光客

ともに種雄牛の管理に当たった肉改研の榎畑隆治技術補佐員は「二頭だけ夏バテしたが、思ったより暑くなく、牛たちは無事故かつ快適に過ごすことができ島が気に入ったのでは。農家の方々も協力的で感謝したい」と振り返った。

6頭は肉改研内の特別施設で一週間ほど経過観察された後、住み慣れた畜舎に戻ったという。

### 打越衆院議員が視察来島、来年度予算編成に向け意見交換

民主党の打越明司衆院議員（比例九州）は8月19日、来年度予算要望に向けて、町役場で町幹部職員や町議会議員らと意見交換した。

意見交換の前に加藤啓雄町長は「代議士と直に意見交換できる機会はあまりなく、打越議員に感謝したい。来年度予算も厳しいだろうが、地域に即した皆さんの様々な意見を出して欲しい」と話した。

つづいて打越議員は、昨年から続く大幅な税収減と麻生政権で一気に膨れあがった国債発行額（国の借金）を説明しながら「（赤字財政を立て直すため）政府は来年度予算額について、今年度予算額を一律に一割減した額を基本に考えている。昨年大幅に減額された奄振事業も例外ではない」と奄美にとって厳しい状況を話した。

一方、喜界島に関しては「先見の明があった農地整備はほとんど終わっているが、残された畑総整備事業の完遂に取り組みたい」、奄美全体に関しては、政権が変わっても実現できていない『揮発油税の減免』について、「来年4月からの実現に向けて法改正に取り組んでおり、大きな手応えを感じている」と説明した。

さらに打越議員は「一割減が原則といえど、説得力のある材料が説明できれば、増額もあり得る。ぜひ

忌憚のない意見を聞かせてほしい」と話して意見交換に入った。

主な意見は次のとおり、

●本町には汲み取った後の、し尿や浄化槽汚泥の処理施設がなく、（志戸桶の）有機物供給（液肥）センターで処置（液肥化）しているが、同施設は設置後16年が経過して老朽化している。そのまま下水処理場に流せばよいが、（汲み取った）し尿や浄化槽汚泥には雑物が多く濃度も高いため、雑物除去や濃度希釈の設備（前処理施設）が必要となる。

国交省にある、基幹となる事業の効果を一層高めるための「効果促進事業」で、前処理施設はできないか。

●本町の国民健康保険会計から、県国保連合会へ「共同事業拠出金」として年間約3千万円を「赤字負担する形」になっているが、本町は他市町村より医療費が低いため、この拠出金が町の被保険者のために使われない状況にある。

制度としては理解できるが、「見返り」のような措置はないか。

●農水省は今年度から「直接採択制」を取り入れ、補助事業は農事組合や農業生産組合などと国が直

接やりとりするようになり、県や町は関わりがなくなった。補助希望者から相談があっても助言しかできず、補助決定の審査内容も一切知らされない。

地域の実情を理解しているのは国より町であるため、元の制度に戻せないか。

他にも多くの意見が出され、打越議員はそれぞれに意見や持論、あるいは政府方針を説明し「地域の実情を聞いて勉強になった。これらの意見が実現できるよう取り組みたい」などと話した。また、意見を深く交換できなかった事案については「持ち帰って近くお答えしたい」とした。

意見交換会に先立ち、水質浄化センター（池治）や南部地区浄水場、畑地帯総合整備地区（手久津久）などを現地視察し、農家や生和糖業とも意見交換した。



国政報告する打越議員（奥）

**9月23日**から調査員が各戸を訪問して調査票を配布します!!

**平成22年10月1日**

# 国勢調査を実施します



- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 平成二十二年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。
- 九月二十三日から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。  
記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員に渡してください。
- 調査票は、外部に漏れないように厳重に管理し、集計が完了した後には完全に溶かし、再生紙として生まれ変わります。
- 統計法では、調査対象者に対し、調査票に記入して提出する義務（報告義務）を定めています。
- 国勢調査では、電子メールでおたずねしたり、金品を請求することはありません。



総務省・鹿児島県・喜界町

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査 e-ガイド」をご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

国勢調査 e-ガイド

検索



## 「先人の遺志をいつまでも」 第103回中里立毛品評会

中里集落（野間昭夫区長）の第103回中里集落さとうきび立毛品評会の表彰式が同集落の六月灯に合わせて7月30日、同集落の新公民館であった。

冒頭で宝秀利産業振興課長補佐は「現地での審査に同行したが、中里集落のキビは特に出来がよいと感じた。今後も体に気をつけながら、本町のキビ振興にご協力ください」とあいさつした。

受賞者一人ひとりが表彰された後、講評した上地義隆糖業係長は「今回は各作型（夏植・春植・株出）合わせて25筆が出品され、中里が一番多かった。また、よく管理されているせいか病害虫が少なく、特に茎数が多い。今後とも期待します」と話した。

最後に、全出品者に同集落から金一封が手渡され、表彰式を終えた。

引き続きあった懇親会では、山倉一男さんが「後期高齢者といわれる方々が多く受賞され、同慶の極み。先人の遺志を引き継いで、次の世代へと末永く続くことを祈念します」と述べ、乾杯した。

懇親会では時間を忘れて、キビ作談義や四方山話に花を咲かせた。



各作型すべてに入賞した酒井さん

平成22年度受賞者（得点は100点満点）

夏植の部		
	氏名	得点
1等	植村 満	91.98
2等	酒井 和代	86.09
3等	楨 清志	85.02
春植の部		
	氏名	得点
1等	界 直隆	98.01
2等	酒井 和代	93.66
3等	楨 清志	93.66
株出の部		
	氏名	得点
1等	本田 平造	85.07
2等	野間 力	81.45
3等	酒井 和代	81.16

### 中里地区平均茎長及び平均茎数

	夏植			春植			株出		
	H21	H22	H22-H21	H21	H22	H22-H21	H21	H22	H22-H21
茎長(m)	242.9	201.7	-41.2	122.8	132.4	9.6	164.7	140.4	-24.3
茎数(本)	34	94	60	37	107	70	45	105	60

## きれいな海に魅せられました!!

—太宰府少年の船が“来航”—



太宰府少年の船協会のメンバー

「ぼうけん、喜界島!」をスローガンに、日常では経験できない海洋研修を中心とした実体験をとおして、自信を持ち、新しい自分を発見することを目的に、福岡県の太宰府少年の船協会（白木昭道会長）の一行80人は8月18日から3日間、喜界島を訪れ、自然や文化を学び、荒木小の児童らと触れ合っ、島の魅力を堪能した。

初日、一行は朝のフェリーで到着し、休憩もそこそこに城久遺跡や巨大ガジュマル、地下ダムなどの観光地を見学。午後からは荒木小の児童らとスギラビーチでグラウンドゴルフ、海水浴を楽しんだ。

翌日、島のメンバーと文化交流会。太宰府のメンバーらは準備していた歌や寸劇を披露。島からは上嘉鉄三線クラブや荒木民族芸能保存会らが、八月踊りなどを披露した。

その後、バーベキュー大会に移り、互いの親睦を深めた。

最終日は、班ごとに分かれての自由散策や荒木小で島の文化に触れるなどした。

今回参加した太宰府市立水城小学校6年の岡元紘子さんは「海がきれいで空気もきれい。遠くまで見渡せて感動しました。信号がひとつしかないのも面白い」と話し、荒木小4年の福原健人君は「初めて会う友だちとグラウンドゴルフをして楽しかった。福岡の人たちはやさしかったです」と話した。



荒木小児童らとグラウンドゴルフで交流

# 消費生活講座のご案内

近年、情報化や高齢化、国際化等の進展により、サービス、クレジット等に関するトラブルや契約、販売方法をめぐる消費者問題が多発し、手口も多様化、巧妙化してきています。また、来年7月に完全移行する地上波テレビ放送にからんだ架空工事の料金請求などの詐欺も散見されています。

町民のトラブルの未然防止を図るために、下記のとおり講演会が開催されます。

講師は、NHK キャスターとして活躍され、現在は奄美パーク園長でもある、宮崎緑さんです。

## ●開催日

平成22年10月20日(水) 午後2時～4時

## ●内 容

(演題)「悪質商法に騙されないように!!」

(講師) 宮崎 緑さん (奄美パーク園長)

## ●場 所

役場コミュニティーホール



宮崎 緑さん

## 【問い合わせ先】

役場住民課生活環境係

TEL 65-1111 (内線 33)



「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に基づき、平成22年5月1日から給付の申請を受け付けています

## ○給付対象者

かつて水俣湾などのメチル水銀で汚染された魚などをたくさん食べ、手足の先の感覚(触覚・痛覚)が鈍いなど一定の症状がある方で、申請をされ、検診・判定の結果、該当する方。今お住まいの住所は問いません。

## ○給付内容

一時金、療養手当、療養費(医療費の自己負担分)

※詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/minamata/100501.html>

## ▽問い合わせ先

県庁環境林務課 電話 099 (286) 2584 / FAX 099 (286) 5544



### 「われと来て遊べや親のない雀」 豊ピーちゃんの成長日記

中里に住む豊吉男さん夫妻はこのほど、スズメのヒナを里親となって育てた。

このヒナは、豊さんの三女高田喜久代さんに雨の日に巣から落ちていたところを発見され、すぐに「このままでは危ない」と、メジロを飼った経験がある吉男さんに救急避難的に預けられたという。



今回保護されたピーちゃん

“ピーちゃん”と名付けられたヒナは、ハガビビーの頃はメジロの練りエサを与えられたが、羽毛が生えそろい出す頃にはパンやあわを与えられ、『われと来て遊べや親

のない雀』(小林一茶)とばかりに吉男さんや妻のミエさんが肩や手に乗せると、じゃれたり口移しでエサをもらうほどにスクスクと成長。姿が見えなくても「ピーちゃん」と呼べばひょっこり現れるほどに、親子の絆を深めた。

それでも吉男さんは「このままではいけない」と野生に戻すため、木の枝に乗せたり水浴びや砂浴びを覚えさせたという。

おぼつかない翼のピーちゃんは『子雀や遠く遊ばぬ庭の隅』(尾崎紅葉)のように家からあまり離れず、『雀の子そ

このけそこのけ御馬が通る』と詠んだ一茶の心境そのままに、イタチやネコの心配をする両親を安心させていた。

また、飛び方が上手くなるにつれ“インドウヤーのドウシ”と遊ぶようになり、決まったゴハンの時間にしか姿を現さなくなったという。

そんなピーちゃんの「成長が楽しみ」だったミエさんは「最近では呼んでも近づいてくるだけで、手に乗らなくなった」と、まさに“親の手を離れた”生(な)さぬわが子の野生生物としての成長に、複雑な表情をのぞかせていた。



ミエさんからエサをもらうピーちゃん

「コイの赤ちゃん早く大きくなあれ！」〜坂嶺小でコイが繁殖〜

坂嶺小学校(藤原保広校長、児童数13人)でこのほど、校内の池で飼うニシキゴイが繁殖し、児童らの関心を集めている。  
繁殖を確認したのは6月頃、久保清一教頭が水草周辺でチョロチョロ動く小魚を見つけ「誰かがグッピーでも放したかな」と思ったという。ところが7月になると体長3〜4センチほどに成長。親らしきニシキゴイと体の模様も似ているため、ニシキゴイの稚魚と分かった。  
通常ニシキゴイは、水温や酸素濃度を調整し、産卵場所になり稚魚が隠れる水草などがないと産卵

しないという。久保教頭も「今まで学校内で、ニシキゴイが繁殖したという話しは聞いたことがない」と驚く。  
それまでエサやりは主に久保教頭の仕事であったが、児童たちは夏休み中でも争うように「エサやり係」を志願。それぞれに名前を付けるなどして、成長を楽しみにしている。



8月末には体長10センチ弱に成長

### 阿伝小にバドミントンクラブが発足

阿伝小学校(神田之弘校長、児童数9人)でこのほど、バドミントンクラブが発足した。  
指導するのは湾でバイク

入れた練習などで、低学年が多い子どもたちが飽きないよう、練習メニューも工夫しているという。  
東崎翔太くん(6年)は「高く上がった羽根を追うのが難しい」と今の課題をあげた。

シヨップを営む安元吉さん。安さんは、競技の一線からは離れたものの、現役時代は郡体や県体の常連で、滋賀県代表の経験

もある実力者。活動日は毎週月曜の4時から。反復練習に重点を置き、試合形式の練習や遊びの要素を取り入れる色んなスポーツに出会って欲しい」と付け加えた。



阿伝小バドミントンクラブのメンバー

も活動日は毎週月曜の4時から。反復練習に重点を置き、試合形式の練習や遊びの要素を取り入れる色んなスポーツに出会って欲しい」と付け加えた。

『日本で最も美しい村』づくりに向けて

喜界町子ども議会開催

第6回喜界町子ども議会が7月27日、『日本で最も美しい村』にふさわしい喜界島にするために小中学生はどんなことができるか』について、各小中学校から15人の児童生徒が参加して町議会議場で開催された。

まず各学校から、昨年度の「ふるさと美化活動」や学校独自の取組状況について、各学校も前年より「ふるさと美化活動」への参加や意識の高まりが見られるものの、十分とはいえない状況にあるとの報告があった。

次に、これらの課題をもとに話し合い、「参加の呼びかけをしよう」「賞状を作ろう」「植物



美しいシマづくりのために議論した子ども議員たち

を大切にしよう」「クリーン作戦を行おう」「ゴミ箱をつくらう」「ポスターを作ろう」などの意見が出された。

これらを受けて、町ではゴミの持ち帰り運動が行われていることから、ゴミ箱の設置などよりも「日本で最も美しい村」作りの意識を高めるため「ポスターを作って呼びかけることが大切」、また、環境を大切にすることを意識を高めるため「学校で花づくりに積極的に取り組む」の2点が決議された。これら2点は、各小中学校の共通実践事項として取り組むことになった。

議会終了後の講評では、町企画課の嶺義久課長が、『日本で最も美しい村』にふさわしい喜界島にするために活発な意見を出してきてありがとう。ここで話し合ったことをぜひ推進していただき、地域資源を守り、活かしながら、ともに「美しい村」運動を盛り上げていきましょう」と話しかけた。

議員として参加した原口玲奈さん（湾小6年）は「子ども議会に出て、いろいろな意見を言うことができてよかった。決まらなかったことを実践して、ゴミのないきれいな喜界島になるよう美化活動などに取り組みたい」と、議長を務めた宮元志穂美さん（一中3年）は「とまどいもあったが、みんなが『日本で最も美しい村』にするために真剣

に議論してくれたおかげで、無事に議長を務めることができた。この決議をもとに一人ひとりが意識的に美化活動に取り組めるように自分も活動していきたい」と、それぞれ話した。

喜界町教職員教育講演会開催

七月二十九日（木）に喜界町教職員教育講演会（町教育委員会主催）が町役場多目的室であり、町内各幼稚園、小・中学校、喜界高等学校などから約一二十名が参加しました。

本年度は、大島教育事務所の楠元精文（くすもとよしふみ）所長を講師に迎え、「未来を拓く」という演題で講演をしていただきました。

最初に「出会いの不思議さ」について話され、縁によって生かされることへの感謝の気持ち



講演した楠元精文大島教育事務所長

をもち教育活動に携わることの重要性を話されました。

次に教育の本質について教育学者の森信三先生の言葉を用いて『教育は人づくりであり、教師としてどのような姿勢であるべきかまた、学校はどうあるべきか』について話をしていたいただきました。

そして、大島地区の学校教育における今日的課題について話をしていたいただきました。その中で、最重要課題である学力向上に対しては、『家庭学習の質の向上を図るためにもつと学校側が積極的に係わっていくことの重要性』や、『子どもの学力と教師の授業力は、表裏一体である』ことなどを話され『教育にへき地なし』を体現するために、も教師の指導力向上に向けて更なる研鑽の必要性があることを指導していただきました。生徒指導面では、『命を守り、生き方を教える指導が一体的に行われているか』問いかけられ、学校としてつと『心の教育』の充実を図ること、『家庭や地域との連携』を図ることについて話をされました。また、『学校の教育の成果は、地域で表出する』と述べられ子どもの成長につなげるように学校評価を改善していくことの重要性について話されました。

最後に、それぞれの学校が抱える課題解決へのアプローチに



楠元所長の講演に耳を傾ける受講者ら

ついで『教育は人なりであり、教師力アップで多くの課題が解決する』ことを話していただき、そのために『子どもの存在感や自己有用感を得させることの大切さをしっかりと認識して欲しい』と指導していただきました。

町内の教職員は、二学期からの教育活動に向けて授業改善など更なる自己研鑽を深めていくと気持ちを新たにすることを話しました。



# すこやかニューズ

すこやかセンター (TEL 65-3522)

## 9月は健康増進普及月間です。

皆さんもご自分の健康について考えてみませんか？

毎年9月は、がん征圧月間です。

今や、国民の2人に1人が、がんになる時代です。人ごとではないですよ。しかし、がんは、早期発見・早期治療で治る確率も高くなってきています。10月には、医師会健診と一緒に大腸がん検診を、11月には胃がん検診を予定しています。がんの早期発見のためにも、ぜひ、がん検診を受けて下さい。



あるくことが健康によいと知っていてもいっただいどれくらいあるけばいいのでしょうか。生活習慣病の予防には男性で9,000歩女性で8,000歩が目安といわれておりそして平均的な歩数から考えると足りないのはあと1,000歩。時間にして10分程度あるだけでじゅうぶんに効果があるのです。1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ 健康寿命をのばしましょう。



## 低線量CT肺がん検診のお知らせ

鹿児島県では、県内在住の50歳以上の方を対象に、低線量CTによる肺がん検診事業を実施しています。自己負担額は2,550円で、期間は平成23年3月末までです。

詳しくは、鹿児島県のホームページをご覧になるか、すこやかセンター(TEL 65-3522)までお問い合わせください。

## 9月24日～30日は

### 「結核予防週間」です

結核は今でも最も規模の大きな感染症のひとつです。

#### 結核の症状

- 2週間以上続く咳・痰・倦怠感・微熱が続く、胸痛など
- \*高齢者は咳や痰が目立つ症状がでにくいのが特徴。
- 微熱、食欲不振、元気がないなどが続くときは要注意。
- 症状がある時には、早めに受診を！

咳が出るときはマスクを！

★65歳以上の人は年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。(12月に結核検診があります。)

★生後6ヶ月までにBCG接種を受けさせましょう。(喜界町では乳児(3・4ヶ月)健診時に実施しています。)

## 「中里にこやか見守り隊」発足！

地域支え合いマップ・ネットワークづくり

年をとっても、生まれ育った島(集落)で暮らしたい。誰もが思うそんな気持ちを地域で支えていこうと、「中里にこやか見守り隊」が発足しました。

区長、民生委員、在宅福祉アドバイザー、婦人会、集落有志を中心に約20人の隊員が集まり、地域で支援する体制作りについて皆で勉強会やマップ作り等の作業を続けてきました。

隊員の界かおるさんは「婦人会のともしび活動や民生委



員という立場でも見守りを続けていました。今回の活動に参加して一部の人が関わるより、集落の人みんなで地図を見ながらワイワイ話しをして情報を共有できた事が嬉しいです」と語ってくれました。

見守り隊の発起人でもある野間昭夫区長さんは「温故知新：古きをたずねて新しきを知る」という言葉があるように、昔は生活の中でお互い助け合う結いが必要視されていました。これからは、集落住民の日常生活の中で『結いの精神』を活かして高齢者から生きる知恵を、高齢者が見守られていく安心感を、お互いに支え合う集落作りを進めたらと思います。」と語ってくれました。見守る方も、いざれ見守られる側になります。誰もが安心して老いてゆける支え合いの地域づくり、あなたの集落でも始めてみませんか？

# 国民年金だより



## 【国民年金のメリット】

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入して保険料納めることとなります。「年金なんてまだ先のこと」と思われる方もいるかもしれませんが、国民年金には、次のように様々なメリットがあります。

### メリット1 生涯の年金額は保険料の1.7倍以上

国民年金の老齢基礎年金は、2分の1（平成21年3月分までは3分の1）が国庫負担（税金）でまかなわれるため、支払った保険料を上回る給付を受けることができる計算となっています。厚生労働省の試算では、1985年生まれ（2005年で20歳）の方でも納めた保険料の1.7倍以上となります。

### メリット2 老後を支える終身保険

国民年金は、生きている限り年金が受け取れる一生涯の保障であり、老後の生活をサポートします。

### メリット3 ケガや病気、万が一の時にもサポートします

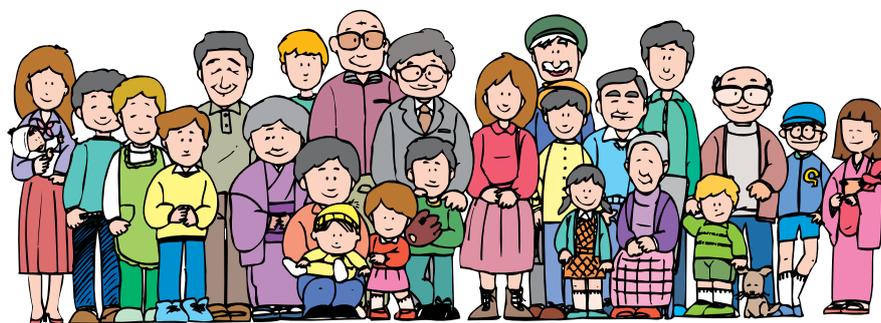
国民年金は老後の保障だけでなく、加入者がケガや病気により障害が残ったときは「**障害基礎年金**」、亡くなられたときにはその遺族に「**遺族基礎年金**」が支給されるなど、あなたの家族をサポートします。

### メリット4 納めた保険料は社会保険料控除の対象

納めた保険料は、確定申告の際に全額が「社会保険料控除」として認められています。

### メリット5 国民年金は経済の変動に負けません

賃金や物価の変動にあわせて、年金を支える力と給付のバランスをとる仕組みにより年金額が改定されるため、年金に加入（20歳）してから年金を受給（65歳）するまでの間、経済社会が大きく変動したとしても、**年金の価値は保障**されます。



## 【20歳になられた学生の方へ】

学生の方は、所得が少ない等の理由で国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合が多いため、在学期間中の保険料の納付を猶予する「**学生納付特例制度**」があります。

対象となる方は、大学等に在籍する20歳以上の方で、本人の前年所得が118万円以下の方となります。

その後、就職するなどして、猶予された分を10年以内までさかのぼって、追加して納付（追納）することもできます。

# 行政相談週間 10月18日(月)～24日(日)

◆行政について困っていることや分からないことを行政相談委員に相談してみませんか。

喜界町では、行政相談委員（園田直樹さん）が国の行政などについて、自宅や電話で相談に応じています。

このたび、行政相談週間行事の一環として、次のとおり、行政相談所を開設しますのでお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。



日 時：平成 22 年 10 月 23 日（土）午前 10 時～午後 3 時

場 所：役場研修室

行政相談員：園田直樹さん（喜界町赤連 2400 番地）TEL 65 - 3663

## 九州電力からのお知らせ ～使い方で省エネ LIVING～

### エアコン

#### ◎設定温度は控えめに

衣服などで調節して、設定温度をできるだけ外気温に近づけましょう。夏は 28 度、冬は 20 度を目安に。

#### ◎窓にはカーテンやブラインドを

カーテンやブラインド、断熱フィルムで窓から出入りする熱を遮断すると冷暖房効率がアップします。

#### ◎扇風機を上手に活用

エアコンと扇風機を併用すると、扇風機の風が冷気や暖気を部屋中に行き渡らせるので、設定温度を控えめにしても冷暖房効果が上がります。

#### ◎室外機の周りはふさがずに

エアコンの室外機は風通しの良い場所（方向）に設置しましょう。植木鉢やごみ箱などで吹き出し・吸い込み口をふさがないようにしましょう。

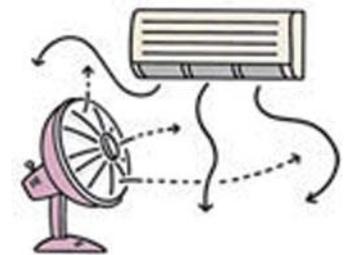
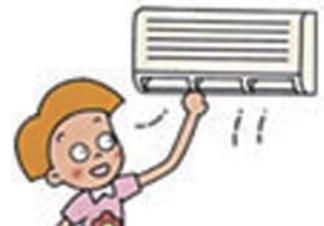
#### ◎使うのは必要な時だけに

不要な時まで冷暖房していませんか？タイマーを上手に使ったり、外出時は早めに切るなどの工夫をしましょう。

#### 買い換えるときは…

#### ◎省エネ性能をチェック

購入前にカタログで省エネ度もしっかりチェックしましょう。「通年エネルギー消費効率値（APF）」を参考にしてください。数値の大きい方がより効率よく電気を使うことを示します。人感センサーや自動清掃機能など省エネ機能もチェックしましょう。



# シマの入り江と潮だまり

（上嘉鉄東編）

## シマ立て（中、西を含む）なごつていつて

古くは「シッタシッタした」湿地帯であったため「しつる村」という古称もある上嘉鉄集落は、方言で「ハテイトウ」といにしえから呼ばれる。江戸時代に薩摩藩は、ハテイトウに「嘉鉄」の漢字を当てたが、これは「ナートウ」を「中里」「アガレー」を「赤連」としたように、他集落でも同様である。さらに明治20年、鹿児島県は「瀬戸内の嘉鉄」と区別するため、大島庁のあった名瀬から、より遠い喜界島の嘉鉄に「文字追加して「上嘉鉄」とした。方言で『ハミハテイトウ』と呼ばないのは、このような経緯があるためである。

集落の背後には急峻な斜面が迫り、目前には海が控えているため、宅地は県道に沿って密集し、人口の割に有効に使える地所は少ない。しかしながら、竹内譲が著した『喜界島の民俗』によれば、湧水量の豊富なウツカア（小川）、ヤンガア（山川）、イツチャジヨウ、マチツチャなどの泉を抱き、田芋や水稲、麦、あわ、豆類などに恵まれ、海には天然

の良港であるハテイトウドウマイ（嘉鉄泊）があるため漁業も盛んであり、その村勢をよく維持してきたという。

集落は、東（ウフジヨウ）、中（インダー）、西（ニシ）の3行政区に分かれる。本誌平成8年7月号2〜3ページによれば、各地区の気質は「負けず嫌いで働きの者」の東、「おつとりして慎重堅実」な西、「良くも悪くも東と西の間で、研究熱心」な中との違いがあるという。島の中でも特徴的な方言も、早口な東に対して西はゆっくり。

また、「負けず嫌いで働きの者」な気質では双壁を成す小野津集落が起業者を多く輩出したことと対照的に、上嘉鉄では役人や教員をよく輩出する。

そんな3地区で構成される上嘉鉄集落は、「ハテイトウ魂」の言葉があるとおり団結力は島一番で、町民体育祭などではそのチームワークが遺憾なく発揮されている。そして何より今月号の表紙にある盆踊りが、それを体現している。

満潮にはスヌユ（キビナゴ）が入り、一か所しかない出入口も狭いので、容易に捕ることができた。ウルバルフッカー

高いところであり、冬の小潮には魚が凍え死んでしまう。

### ウインシラハマ

以前は子どもたちが泳ぎを練習した。

### ウシントウヌー

引き潮になると牛の角のように2つの岩がみえる。

### ハリチラー

ハリが切れるほどの大物が釣れるという。

### ウフンベヨ

ウフミ（ミナミハタンポ）がよく釣れるポイント。

### ナーラスクムリ

漬け物にする大根や菜っ葉を洗う場所であった。

### ウスクムリ

湧水がなく大潮でも海水が入ってこないため、良質な塩田であったという。

### エーナビ

男児が波乗り遊びをし、旧盆13日の早朝には七夕行事をした。現在は突堤ができ、当時の面影はない。

情報提供：故・田中働助さん



- スヌングムリ
- ウルバルフッカー
- ウインシラハマ
- サンシラハマ
- クワリーミジュー
- クワリー
- シトウバナ
- ヒラチンサチ
- ウシントウヌー
- ウルムリ
- ハリチラー
- ウフムンナビ
- ウフンベヨ
- ウフムリ
- ハーミムリ
- ウチナングムリ
- チュデー
- ナーラスクムリ
- ウスクムリ
- エーナビ

# 喜界歌壇

## 〈ミーニシ會〉

ゆて卵つるりとむけて梅雨の  
朝心はずみてコーヒー淹れる

嶺倉 祝子

滞りし事を済ませし夜を遅く

身を横たえて無音に浸る

林 蓮香

友寄れば何時迄生きるポック

りと逝くを願ふと生死を語る

有村 道子

腰痛の吾に替わりて布団干す

隣人のこころもほかほかと温し

平尾 チョ

月は照る虫鳴く大地に歩哨立

つ望郷の文終兄は還らず

弥島 幸子

## 〈萌葉會〉

白妙の蘭の鉢植え賜りし初夏  
の陽ざしに況してかがやき

島崎 久代

オリジナルアクセサリーのペ

ンダント貝の輝き胸元飾る

平島 初子

衣がえ心も部屋も模様がい悦  
にはいるや友の書目にし

井澤紀美子

夜空彩る大輪の花光のシヨ

猛暑忘れしひととき憩う

夏祭太鼓響けき女童の乙女の

姿しばしとどめむ

前田喜代美

細き撥短く持ちてかき鳴らす

師匠の手型我も受け継ぎ

徳 成寿

機銃痕残る身にして若き等

に平和語るべき責思いおり

美代 イシ

大学を終えなば来ませと孫に

言いぬ一期一会の思い浮かばず

中澤 ヒデ

## 戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

旭 聖虎裕也 湾

喜慎 榛康祐湾

清沢 大和信也赤連

西 愛羅智之中里  
榮 優心勝也佐手久

## いつまでも お幸せに

氏名 住所

沖島 亨 東京都  
大塚 安里 東京都  
大喜 輝久 志戸桶  
河内 幸子 志戸桶

※先月8月号のこの欄にあった  
「京極桂子」は「京極佳子」、「菊  
池優美」は「菊地優美」の誤  
りです。お詫びして訂正しま  
す。

## ごめい福を お祈りします

住所 氏名 年齢

湾 佐藤 加代 83才  
湾 森 福輝 88才  
赤 連 長岡 俊和 70才  
山 田 富山 禎吉 81才  
浦 原 村田ヨネ子 86才  
嘉 鈍 青木 しげ 96才  
小野 津 直島 ユキ 93才  
塩 道 松下 良平 76才  
志戸 桶 外内 マン 96才  
湾 壽谷 ヨシ 92才

## 社協だより

■香典返し(敬称略)

中里 牧野 田鶴子  
塩道 松下 純子  
小野津 直島 昌代  
嘉鈍 佐藤 達夫  
山田 富山 ヒサコ  
上嘉鉄 藤岡 幸雄  
小野津 大村 八江子  
志戸桶 外内 志津代  
羽里 長島 廣次  
志戸桶 濱田 菅  
白 岡 村 進一郎  
湾 下島 初美  
西 田 尚廣

嘉鈍 川畑ハナエ 93才  
志戸桶 濱田 政徳 85才  
城久 生駒アサエ 82才  
上嘉鉄 藤岡 實基 99才  
塩道 下島 エイ 100才  
小野津 大村 晃 45才  
佐手久 米須 ハル 94才  
池治 尾崎 喜三 92才  
荒木 西田 富雄 58才

## 喜界町の推計人口

(平成22年9月1日現在)

世帯数 …… 3,720 戸 (△ 9)  
人口 …… 8,075 人 (△ 15)  
男 …… 3,881 人 (△ 3)  
女 …… 4,194 人 (△ 12)  
( ) は前月比

## 今月の ウヤフジ訓

わあさりに  
(若いときに)

まがらんふしや  
(曲がらない腰は)

まがらん  
(曲がらない)

## 意味

人は若いときに努力し苦  
勞しておけば、年をとって  
から苦勞することはない。

9月末は  
国民健康保険税  
後期高齢者医療保険  
介護保険料  
の納期限です。  
3期分  
3期分  
3期分  
納期内に必ず納めましょう。



## ゲッキツ

**喜**界島から沖縄、東南アジアにかけて分布するミカン科ゲッキツ属の常緑小高木。

名前の由来は、「月夜に花がよく香るため」。その芳香は遠くまで届くといわれ、九里香、千里香の別名もある。また、九里香とはキンモクセイ(金木犀)の別名でもあり、七里香となればチンチョウゲ(沈丁花)の別名となる。シマユミタではディキダー、ジッチューギなど。

花の姿形や芳香は柑橘類そのもので、果実は香油を取り、食用になる。材質は緻密で堅くツヤもあるため、彫刻や杖、刃物や農具の柄、くし、印鑑、文鎮などに用いられる。奄美以南では生け垣として利用される。



写真のよく手入れされた生け垣は、岸田忍さん(湾)宅にて撮影。「植栽して約20年、季節にもよるが剪定は月1~2回」とのこと。

なお、ミカン類に深刻な被害をもたらす「カンキツグリーニング病」(CG)を媒介するため、島からの持ち出しや、奄美大島を除く南西諸島から島への持ち込みは禁止されている。花ことばは不明。



## クロタラリア

**イ**ンド原産でマメ科クロタラリア属の一年

草。緑肥(シキッサー)として畑に植えられる。播種後1カ月で50cm程になる頃には雑草を抑え、水はけ・保水力を向上させる。2m程になる頃には、土中の窒素を固定し、根は固い地盤を破碎する。その後、畑に鋤き込まれると土中の有機分が増加する。沖縄で利用される緑肥としては代表的な品種であり、各種苗会社から販売されている。花ことばは不明。

戦前までは日本各地で、人間や家畜の糞尿、タツクリ(田作り)と呼ばれる獲れすぎたカタクチイワシなどの小魚(シマではギンユゴイをタツクリという。関連あるや?)、食用にならないホンダワラなどの海藻などが肥料として利用されていた。島でも人糞(ソーグイ)や馬糞(マンヌッスー)、ススキ(ドウシチャー)などを発酵させて肥料(クヤシ)とした。戦後になって硫安や尿素などの化学肥料(金肥)が盛んに利用されてきたが、最近になって有機農業や減農薬農業が目されるにしたがい、緑肥も再び脚光を浴びている。



## ニシキアカリファ (アカリファ・ウルクシアナ)

**南**太平洋の島々が原産でトウダイグサ科アカリファ属の常緑低木。アカリファの仲間は数多くあり、姿形にも大きな差がある。島にあるのは「ベニヒモノキ」と呼ばれるアカリファ・ヒスピダと「ニシキアカリファ」と呼ばれるアカリファ・ウルクシアナであり、後者がここで紹介している“アカリファ”である。百之台公園や県道の街路樹として植えられている。観葉植物であるが、ヒモが垂れ下がったような花もこの時期に咲いている。坂嶺小にて。花ことばは不明。

